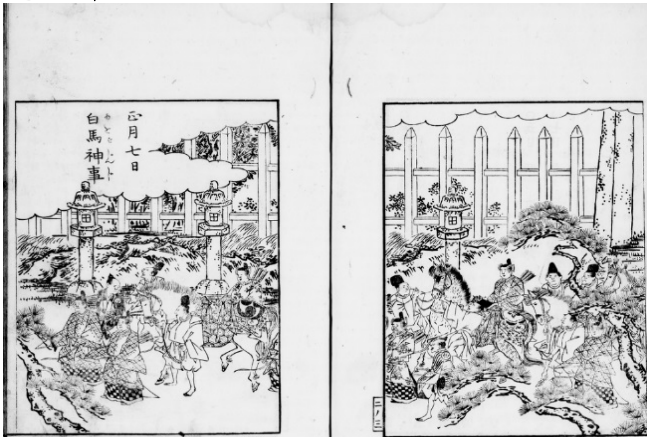


貴重図書展示「歳時記"春"」

期間：2024年1月9日（火）～3月27日（水）
 場所：中百舌鳥図書館1階貴重図書展示ケース

すみよしめいしやうずえ
 住吉名勝図会 刊 大五冊
 寛政6年(1794)



みやこめいしやうずえ
 都名所図会 刊 大六冊
 天明7年(1787)



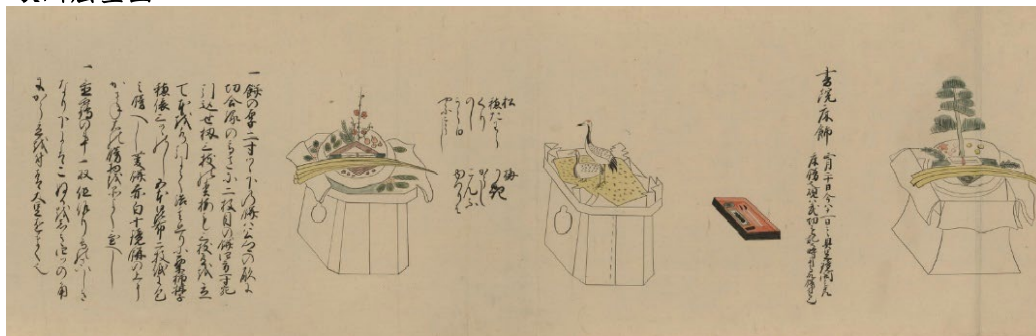
京都およびその周辺の案内を目的として版行された絵入り地誌。名所旧蹟、伝説・風俗、名物・名産などが紹介されている。

ぞうほえいどねんじゆうぎょうじ
 増補江戸年中行事 中一冊



室町時代物語。奈良絵本。継子いじめ型の恋愛物語で、諸本に異同が多い。寛永以後には版本として何度も出版された。本書には六枚の奈良絵が収められている。

ごせつかさりのまき
五節句飾之巻 写 一卷
歌川広重画

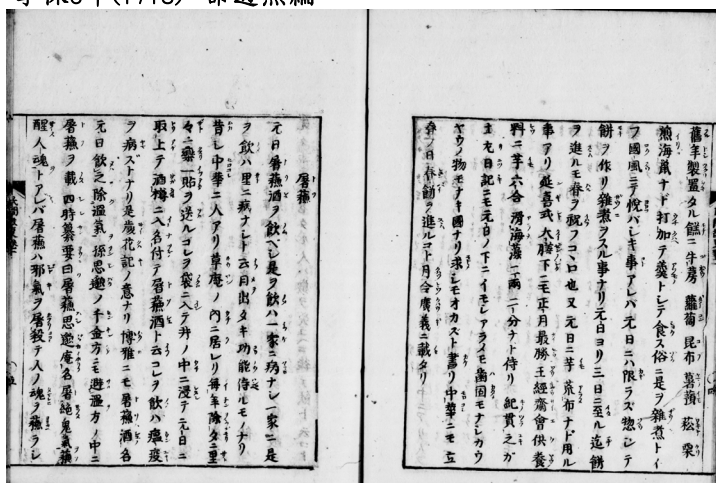


武家礼式の小笠原流の宗家、小笠原長時とその子貞慶による五節句の飾り物の故実書の写し。伝書としての形式を持つ。

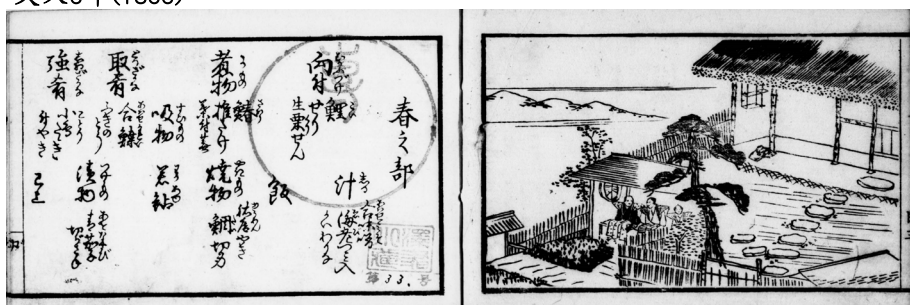
きょうみず
京の水 大ニ冊
寛政3年(1791)



みんかんねんじゅうこじょうげん
民間年中故事要言 卷之一 刊 大七冊
享保3年(1718) 部遊燕編



しきこんだてかいせきりょうりひのうしよ
四季献立会席料理秘囊抄 刊 横一冊
文久3年(1863)

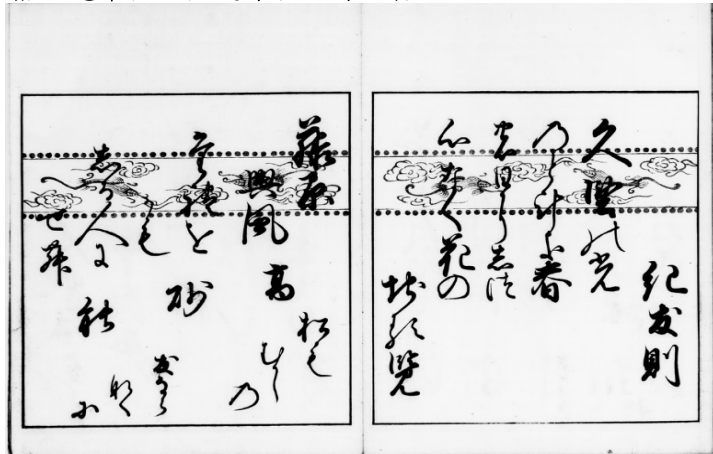


にほんさいじき
日本歳時記 刊 大三冊
貞享5年(1688)



歳時記とは季節に応じた行事や自然現象などについて解説したもの。本書は民間の年中行事を主としており、詩歌連俳の作例を掲げ、挿絵を交えるなどして理解の便を計ってある。

ひゃくたいひやくにんいっしゅ
百躰百人一首 折 二帖
嘉永元年(1848) 芝泉堂川陽谷書



げんじものがたりにしきえ
源氏物語錦絵 刊 一合
三代歌川豊国画 一筆斎刊



一卷一枚で五十四枚揃。巻名の由来となった和歌と源氏香図を付す。